

2025年1月22日
株式会社タムラ製作所

メキシコの大型トランス・リアクタ生産第2工場稼働のおしらせ

株式会社タムラ製作所（本社：東京都練馬区、代表取締役社長：浅田 昌弘、以下、「当社」）は、大型トランス・リアクタを生産するメキシコの連結子会社 Tamura Power Technologies de Mexico SA, DEC. V.（以下、「メキシコ工場」）の第2工場を2025年2月より稼働を開始する予定です。



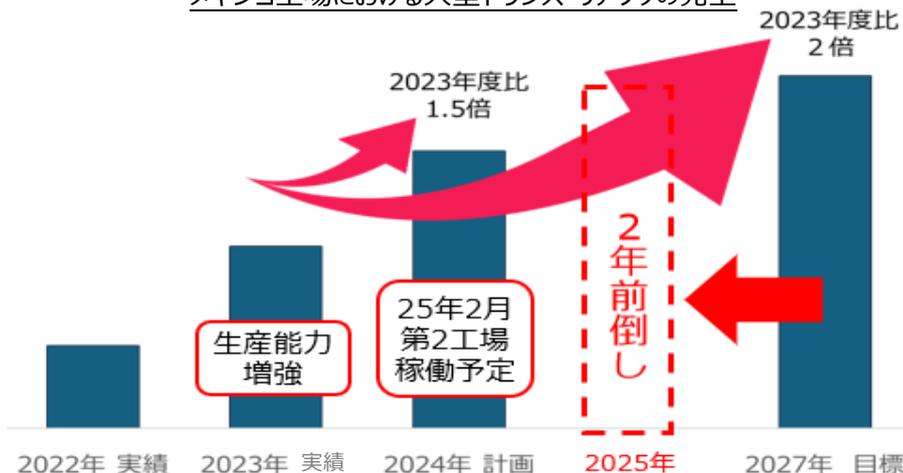
Tamura Power Technologies de Mexico SA, DEC. V.第2工場
(設備投資金額約100万USD、建屋レンタル費用約50万USD/年、延べ床面積：約4000㎡)

大型トランス・リアクタは、風力発電・太陽光発電設備のパワーコンディショナー、直流給電による送配電、そして、PDU（電源分配ユニット）やUPS（無停電電源装置）などの電源システムに使用されています。北米では、生成AIの広がりなどからデータセンター関連需要が活況であり、メキシコ工場の大型トランス・リアクタの受注は、データセンター内のPDUやUPS向けに大きく拡大しています。

当社は、2024年4月26日付「メキシコ工場における大型トランス・リアクタの生産能力増強について」で公表のとおり、2023年にメキシコ工場の当該製品生産能力を増強する工事を行いました。高い稼働率が継続していることから、近隣地に更に第2工場を準備し、本年2月より稼働を開始する予定です。2024年4月26日付リリースで2027年度売上高目標を2023年度比2倍と公表しましたが、2025年度中に前倒しで達成を見込んでいます。伸長する北米データセンター市場において、更なる成長を目指してまいります。

当社の大型トランス・リアクタは、欧州を起点に現在世界8拠点で供給できる体制を整えています。欧州で築き上げた高い信頼が、北米における成功につながりました。第13次中期経営計画「Energize the Future 100」に基づき、これからもカーボンニュートラル社会の実現に向け、貢献してまいります。

メキシコ工場における大型トランス・リアクタの売上



【タムラ製作所について】

タムラ製作所は、2024年5月に創業100周年を迎えました。創業当時のラジオおよび電子部品の製作・販売から始まり、現在はトランス・リアクタなどの電子部品、接合材や絶縁材などの電子化学材料、自動はんだ付装置、放送局用音声調整卓などを製造・販売しています。

株式会社タムラ製作所 東証プライム市場上場（証券コード：6768）

URL：<https://www.tamura-ss.co.jp/>



以上